

常田守写真展

世界自然遺産を目指す奄美大島～水が育む自然のいのち～ 実施要項

1 趣 旨

世界自然遺産登録を目指す奄美・琉球。特に奄美大島は独特の地史を有し、安定した川の流れが森を育ててきた。この森は極めて多様で、固有種が多い亜熱帯生態系がつくられ、絶滅危惧種の生息地となっている。このような水に育まれた自然と、そこにすむ動植物を紹介することにより、世界自然遺産として推薦される価値を県民に周知すると共に、登録に向けた気運を盛り上げることを目的とする。

2 主 催 鹿兒島県立博物館・常田 守

3 期 間 平成26年6月6日(金)～7月6日(日)

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 6/9(月), 6/10(火), 6/16(月), 6/23(月), 6/25(水), 6/30(月)

4 会 場 県立博物館 本館1階企画展示室

5 入場料 無 料

6 展示内容

- (1) **世界自然遺産を目指す奄美大島** 【1面】
写真展の趣旨説明、なぜ奄美大島が世界自然遺産の候補地にあげられるのか、などの説明を行う。奄美の固有性・多様性を強調する。
- (2) **水が豊富な様子を紹介** 【2面】(中キャプ:「奄美を育む水」)
・雨上がりの山の風景 ・川の流れ
- (3) **滝を紹介** 【3面】
・大きな滝の写真を上から下まで大きく配置
- (4) **大木を紹介** 【4面】(中キャプ:「奄美の森の巨人」)
・奄美に生える大木をクローズアップ
・シイノキ(アマミアラカシ, オキナワウラジロガシ)
・ガジュマル, アコウ, ホソバイヌビワなどの絞め殺し植物
- (5) **固有の植物を紹介** 【5面～7面】(中キャプ:「奄美の固有植物・希少植物」)
・溪流性の小さな固有種
・アマミセイシカなどの樹木系 ・ランなどの華やかな固有種
- (6) **固有の動物を紹介** 【8面～10面】(中キャプ:「奄美に固有な動物」)
・両生類, は虫類(カエル, イボイモリ, ヘビ)
・ほ乳類(アマミノクロウサギ, ケナガネズミ, アマミトゲネズミなど)
・鳥類(ルリカケス, アマミヤマシギ, オオトラツグミなど)
- (7) **奄美の自然を紹介** 【11面～12面】(中キャプ:「奄美の豊かな自然」)
・鳥類(リュウキュウアカショウビン, リュウキュウコノハズクなど)
・植物 ・干潟の重要性 ・シオマネキの多様性など
- (8) **一般市民へのよびかけ** 【13面】(中キャプ:「世界自然遺産にむけて」)
・世界自然遺産になると何がかわるか
・まず知ること ・外来種を逃がさない ・応援する意識を持とう
- (9) **奄美の四季** 【中央展示】
・常田氏制作のビデオ上映 ・レプリカなどを写真の邪魔にならないように展示する。
- (10) **生物多様性とは** 【エントランス】
・生物多様性とは何か, について紹介するパネルや資料を展示する。

7 関連行事

- (1) 常田 守講演会 6月7日(土) 15時から：図書館大研修室
(中高生ボランティア1回目と重複)
6月8日(日) 14時から：博物館3階研修室
会場：県立図書館会議室を予定
*常田氏を講師として招聘：6/7(土) 朝着～6/9(月) まで
- (2) 自然だより 6月「世界自然遺産を目指す奄美大島」
- (3) ミュージアムトーク 6/14(土) 13:30～14:00 (14時から科学教室イカの解剖)
6/21(土) 14:00～14:30
6/28(土) 14:00～14:30
7/5(土) 14:00～14:30 各回担当：金井